

「未来を創る “Hybrid Innovation”」

～マルチコミュニケーションで境界を超える～

ご案内

2021年6月

東京工業大学 * ロンドン芸術大学CSM

我々はイノベーションを生み出すことができているだろうか？

「芸術と科学、人文学と技術といった異なる領域を結びつける能力こそが、イノベーション、イマジネーション、そして非凡なひらめきのカギとなる。」

ウォルター・アイザックソン著「レオナルド・ダ・ヴィンチ」

未来を創る “Hybrid Innovation” ～マルチコミュニケーションで境界を超える～

◇プログラムの背景

世界でアップル社のiPhone、Facebook社のインスタグラムなど**破壊的イノベーション**が進展するなか、日本のイノベーション能力の低下が指摘されています。政府も危機感を持ち、日本の強みである科学技術を基礎技術から社会実装まで一気通貫させ、**経済社会構造を立て直す“統合イノベーション戦略”**を掲げています。

イノベーションは技術革新でなく、社会革新でなくてはならない。そのためには思考の革新が必要です。**分野ごと、業界ごとに高いリテラシーとスキルを持ちながら、境界を超えた新しい枠組みを作り出せないのはなぜか。課題は、“知の分断”をのりこえ柔軟に発想すること、それを可能にする“道筋”**です。

東工大は2017年から、アート領域で世界を牽引する**ロンドン芸術大学セントラル・セント・マーティンズ校**(以下“CSM”)と提携し、**サテライトラボSTADHI (Science & Technology + Art & Design Hybrid Innovation)**を創設。最先端の科学技術とアート思考をかけ合わせ、異分野の人材・情報を融合する“Hybrid Innovation”を推進しております。コロナ禍で世界が揺れる今こそ、**企業の皆様とともに“Hybrid Innovation”への“道筋”を確立し、イノベーションにつなげてまいります。**

◇プログラムの狙い

本プログラムでは、企業の皆様に、“Hybrid Innovation”へのプロセス、即ち“マルチコミュニケーション”を体現して頂き、それぞれの境界を超え、“知の融合”と“発想転換”を体得して頂きます。そして、本プログラムへの参画が**各企業様のイノベーション創出**に繋がっていくことを目指しています。

- **なぜ日本のイノベーション能力は低下したのか？**
- **科学技術とアート／デザイン、更には人文知のハイブリッドな融合とは？**
- **破壊的イノベーション創出の方法：マルチコミュニケーションとは？**
- **言語、視覚、触覚、対面、オンライン... 五感を駆使した手法を体験(ニューノーマル時代への対応)**

◇期間

- **2021年10月～2022年4月**

未来を創る “Hybrid Innovation” ～マルチコミュニケーションで境界を超える～

◇プログラムの特長

▶ マルチコミュニケーションで境界を超える“Hybrid Innovation プロセス”

VUCA: Volatility (不安定) Uncertainty (不確実) Complexity (複雑) Ambiguity (曖昧)と言われる今、既存の分野に安住し定型的な科学的思考のみに頼ってはいは新しい視点で未来に挑むことはできません。分断された知を融合し、“Hybrid Innovation プロセス”を通じて新発想に取り組みます。科学技術とアートが出会い、その中で社会課題が問い直され、読み替えられ、それまで存在しなかった思考とアイデアが混成されていく、まさに、マルチコミュニケーションにより境界を超えるプロセスです。

世界がコロナ禍と共生し、ニューノーマルを確立しようと模索する今こそ、思いきった思考変革に取り組んでみませんか。近未来をどう選びとるか、次の価値をどう見極めるか。哲学、記号学、社会学、文化人類学、心理学……深い人文知もそのプロセスを支えます。

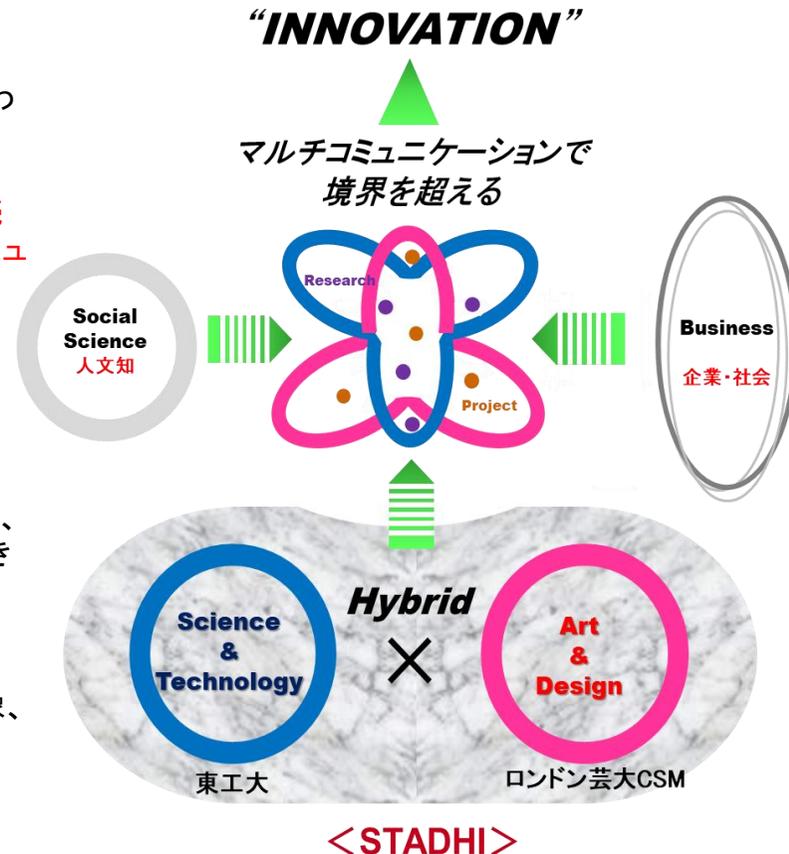
対面／オンライン両面の活動を、それぞれの効果を最大限にすべく組み合わせ、セミナー、ワークショップ、ものづくり、実験などを通じて“Hybrid Innovationプロセス”を強化していきます。

▶ CSMのクリエイティブ集団

CSMのアーティストや研究者を含む多彩なスタッフが、社会デザイン、工業デザイン、映像、ナラティブデザイン、イノベーションマネジメントなど、クリエイティブ分野の豊かな方法論で“Hybrid Innovationプロセス”をダイナミックに表現します。

▶ 企業の参加と対話

企業の持つ実課題を採り上げ、実践的且つ社会的成果を目指します。



未来を創る “Hybrid Innovation” ～マルチコミュニケーションで境界を超える～

◇プログラム責任者 環境・社会理工学院長 中井 検裕

◇多彩なSTADHIメンバー



リーダー: 野原佳代子 (東工大)
翻訳学・コミュニケーション



トゥーツカ・トイボネン (CSM)
イノベーションマネジメント



ベティ・マレンコ (CSM、
東工大WRHI特任教授)
デザイン哲学



ヘザー・バーネット (CSM、
東工大WRHI特任准教授)
アート思考／教育／実践



原 正彦 (東工大)
材料工学・
ナノテクノロジー



ジョルジョ・サラニ (東工大
WRHI特任助教)
民俗学・行動観察学



ネイサン・コーエン (CSM、
東工大WRHI特定教員)
空間／視覚アーティスト



高橋史武 (東工大)
リサイクル工学・
サステナビリティ